

ストリングの

基礎知識

From
テニサポ
第33回

知っているようで、あまり知られていないストリングのこと。このコーナーでは、読者から寄せられた素朴な疑問を、プロのストリンガーに答えてもらいました。皆さんのテニスライフ向上に役立ててください

今回の解説は・・・

小笠原爽太(テニスサポートセンター仙川店)

ストリンガー一歴、店舗では6年、自宅で張っていた時期を合わせたら12年。現在は大前綾希子選手など、複数のプロ選手の張りを担当する。



今号のお題 ノッチができた時の対応と 推奨ストリングについて

まず、ラケットに記載されている推奨ストリングのほとんどは、そのラケットの製造メーカーが販売しているストリングです。他メーカーでもっと合うものがあったとしても推奨はしてくれません。そのラケットを使う平均的なレベルの人を想定して推奨をしてはいる

使用者のレベルに合うかが重要

Q ラケットに記載のある推奨ストリングを張ると、ラケットの性能は上がりますか？

(テニス歴30年 / 50代男性)



推奨ストリング(丸印)は、ラケット本体のバック表示と一緒に記載されていることが多い

のですが、個々のレベルに合わせて推奨しているわけではないので、記載されているストリングをそのまま張ってしまうのは危険です。極端な例えをすると、ラケットに記載されている推奨ストリングが、硬い性質のポリエステル製だった場合、テニスを始めたばかりの人が張ってプレーをするとうなるでしょうか？ おそらく、ボールが楽に飛ばず、無理に飛ばそうとして、ヒジや肩を痛めてしまいます。推奨ストリングをそのまま張らず、まずは自分のレベルに合っているのかをストリンガーに相談しましょう。テニス歴、プレースタイル、練習頻度などを基に、色々なメーカーの中から、自分の技術レベルとラケットの性能に適したストリングを薦めてくれるでしょう。

ストリング 都市伝説

マルチストリングの打球感はどれも同じ？

違います。マルチストリングとは、細い糸を束ねて作られたストリングのことを言いますが、その細い糸の含有本数によって打感の違いが生まれます。含有本数が多いほど打感は柔らかくなり、ボールがストリングに乗るような感覚になります。マルチストリングを普段から使用されている方は、ぜひ違うマルチストリングと打ち比べてみてはいかがでしょうか。



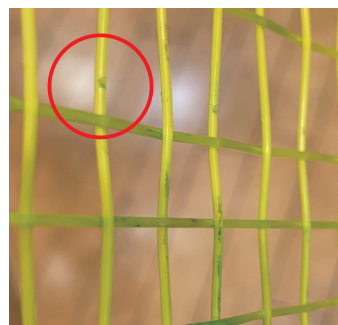
ひとえにマルチストリングといっても、糸の含有本数や、糸の編み方によって使用感が全く異なってくる

Q ノッチができたらずき張り替え
結論から言うと、すぐに張り替えの方がいいです。ストリングの縦糸と横糸がクロスしている箇所にできる溝のことを「ノッチ」と呼びます。このノッチが深くなればなるほど、ボールが当たった時のストリングの動きが妨げられ、そのストリングが持っている反発力やスピンなどの本来の性能が失われてしまいます。ストリングが動きづらいついてきてきたのなら、切

Q ストリングに溝ができてズレにくくなりました。すぐ張り替えた方がいいのでしょうか？

(テニス歴10年 / 40代女性)

れるのを待たず、すぐに張り替えましょう。また、ノッチができていなくても、ストリングを張ってからある程度期間が経っている場合は、ストリングが伸びたり、硬くなっていたりするので、本来の性能を発揮できません。目安としては、ポリは1カ月置き、ナイロンは3カ月置きに張り替えることをオススメします。



打球時には縦糸が稼働することが多いため、横糸に接する部分が擦れて溝(丸印)ができてしまう